

製品名: エフリン A2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10534**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	24kDa

抗原情報

遺伝子名	EFNA2
別名	EFNA2; EPLG6; LERK6; Ephrin-A2; EPH-related receptor tyrosine kinase ligand 6; LERK-6; HEK7 ligand; HEK7-L
遺伝子 ID	1943.0
SwissProt ID	O43921
免疫原	抗血清はヒト EFNA2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

背景

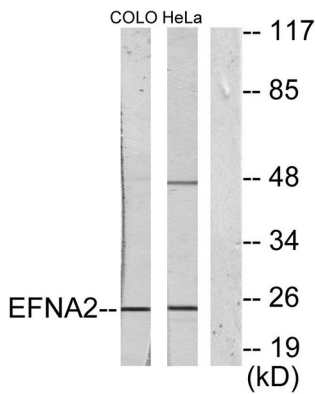
この遺伝子はエフリンファミリーのメンバーをコードしています。このタンパク質は、シグナル配列、受容体結合領域、スペーサー

領域、および疎水性領域で構成されています。EPH および EPH 関連受容体は、受容体タンパク質チロシンキナーゼの最大のサブファミリーを構成し、特に神経系における発達過程の媒介に関与していることが示唆されています。構造と配列関係に基づき、エフリンは、グリコシルホスファチジルイノシトール結合によって膜に固定されるエフリン A (EFNA) クラスと、膜貫通タンパク質であるエフリン B (EFNB) クラスに分類されます。翻訳後修飾によって、このタンパク質が核に局在するか細胞質に局在するかが決定されます。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],類似性:エフリンファミリーに属する。 ,サブユニット:受容体チロシンキナーゼ EPHA3、EPHA4、および EPHA5 に結合する。 ,

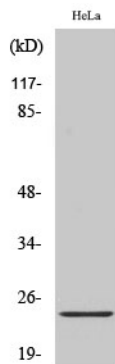
研究分野

軸索ガイダンス;

画像データ



EFNA2 抗体を用いた HeLa 細胞および COLO205 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



エフリン A2 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析